

令和5年産(4年播)麦生育情報 No.2 (R5.1.23)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

(次回は2月下旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、12月は平成24～令和3年、1月は平成25年～令和4年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
12月	上旬	平年並	平年並	少ない
	中旬	平年並	やや多い	かなり少ない
	下旬	やや低い	やや少ない	平年並
1月	上旬	平年並	少ない	やや少ない
	中旬	高い	多い	やや少ない

注) 平均気温 $\pm 0.5^{\circ}\text{C}$:平年並、 $\pm 0.5\sim 1.0^{\circ}\text{C}</math>:やや高い(低い)、 $\pm 1.0\sim 2.0^{\circ}\text{C}</math>:高い(低い)、 $\pm 2.0^{\circ}\text{C}</math>:かなり高い(低い)
 日照時間 $\pm 5\text{hr}$:平年並、 $\pm 5\sim 10\text{hr}</math>:やや多い(少ない)、 $\pm 10\sim 15\text{hr}</math>:多い(少ない)、 $\pm 15\text{hr}</math>:かなり多い(少ない)
 降水量 $\pm 10\text{mm}$:平年並、 $\pm 10\sim 20\text{mm}</math>:やや多い(少ない)、 $\pm 20\sim 30\text{mm}</math>:多い(少ない)、 $\pm 30\text{mm}</math>:かなり多い(少ない)$$$$$$$$$

※12月中旬と下旬の平均気温は「平年並」「やや低い」としているが、半月別の平均気温では、12月第四半月～第五半月の平均気温は「かなり低い」と変動が大きい。

② 生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(1月16日現在)より】

- 「農林61号」は平年に比べ、茎数は多く、草丈は長く、葉数は0.4枚多い。
- 「ふくさやか」も平年に比べ、茎数は多く、草丈は長く、葉数は0.8枚多い。
- 「びわほなみ」は平年に比べ、茎数は少ないが、「農林61号」と同程度である。また、草丈は長く、葉数は0.6枚多い(表1、後掲グラフ)。
- 各品種の生育は、葉齢の進展程度から平年より約2週間早いと見込まれる。

表1 令和5年産(4年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	12/15 調査			1/16 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
農林61号	R5年産 (平年比)	512 (125)	20.4 (137)	4.3 (+0.7)	752 (114)	26.6 (139)	5.4 (+0.4)
	平年値	410	14.9	3.6	658	19.2	5.0
ふくさやか	R5年産 (平年比)	434 (108)	19.0 (136)	4.3 (+0.6)	636 (108)	24.8 (136)	5.9 (+0.8)
	平年値	402	14.0	3.7	590	18.2	5.1
びわほなみ	R5年産 (平年比)	484 (87)	16.9 (125)	4.2 (+0.3)	744 (87)	21.7 (121)	5.9 (+0.6)
	平年値	559	13.5	3.9	855	17.9	5.3

※播種日: 令和4年11月5日。 ※播種量は8kg/10a条播(条間25cm)。

※平年は平成25～令和4年産(平成24～令和3年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は平成28、30年～令和4年産(平成27、29年～令和3年播)の6年間の平均値。

☆1月17日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

- 11月中旬までに播種したほ場は、茎数が多く、生育は進んでいる。
- 11月下旬～12月に播種したほ場では、12月中～下旬の低温により分けつは低調である。
- 10月末に播種したビール大麦では、幼穂が8～10mmに伸長している。

3 今後の管理

(1)追肥

- 速効性肥料の分施肥体系(基肥－追肥－穂肥)
 - ・1月の追肥がまだ施用されていないほ場では早急に施用する。
- 全量基肥一発肥料体系
 - ・早播きしているほ場で、葉色の低下が著しい場合は、2月上～中旬に追肥を施用する。
- 後期重点施肥体系
 - ・生育が早まっているため、早めに茎立ち期を確認し、施肥が遅れないようにする。
- 融雪後の追肥
 - ・分施肥体系で、積雪のため追肥が施用できなかったほ場は、融雪後、なるべく早く追肥を施用する。
 - ・基肥一発肥料体系であっても、積雪下で止まっていた生育を促進するため、融雪後に追肥(窒素2kg/10a)を施用する。
 - ・追肥を施用した場合、穂肥や実肥の施用量を調整する。
 - ・融雪後に追肥を施用する場合は、地表面に溜まった融雪水を排水したのちに実施する。

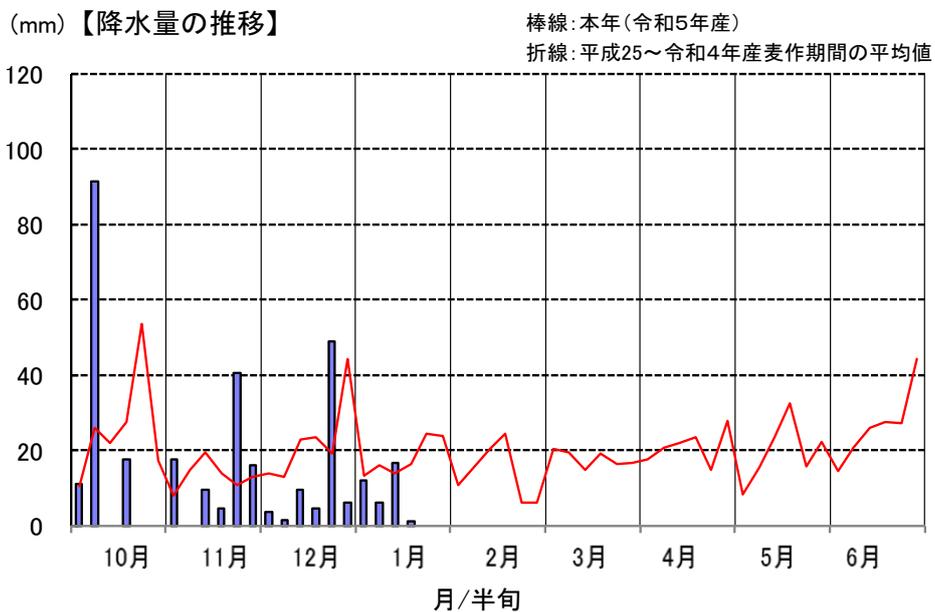
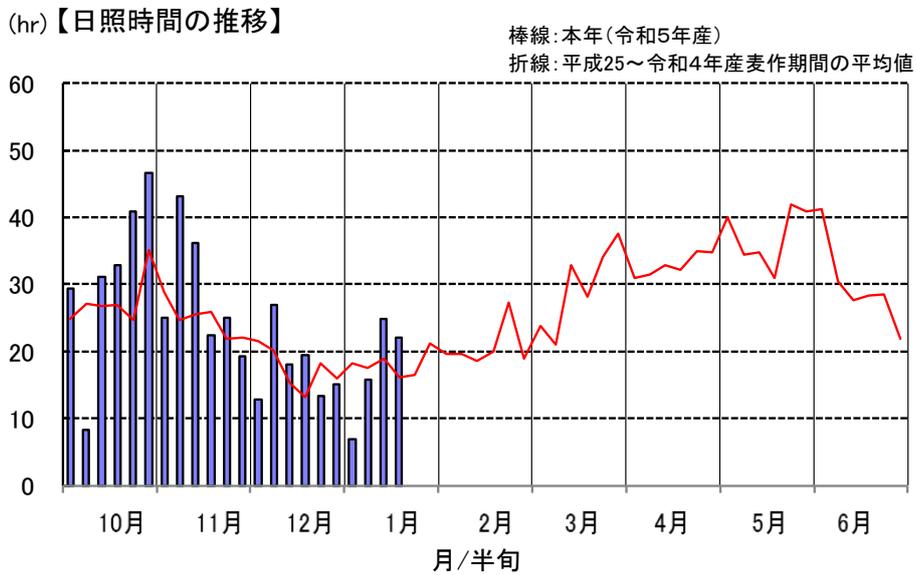
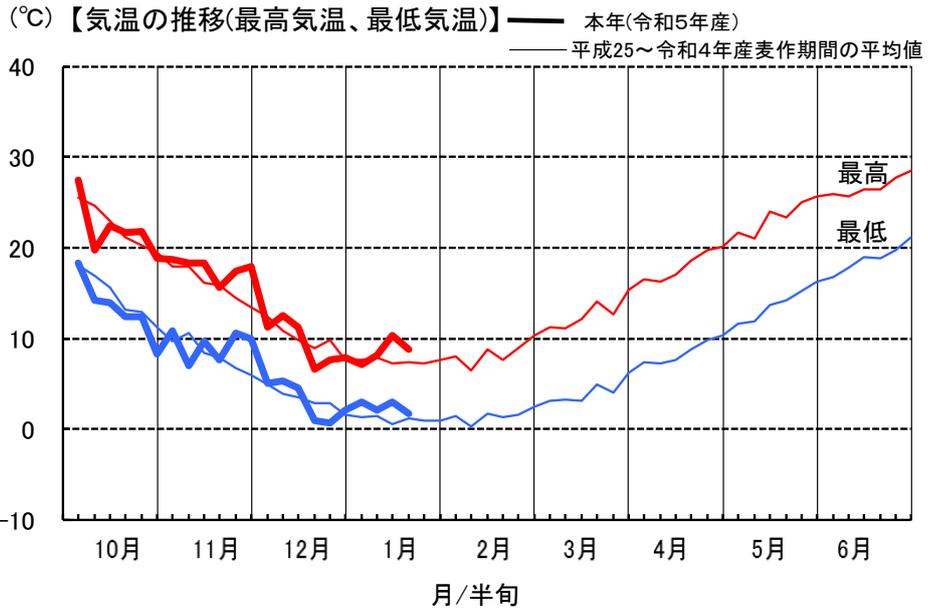
(2)排水対策

分けつ期の湿害は、茎数不足から穂数不足に至るとともに、根の伸長が不十分となって登熟不良にもつながるため、溝に水がたまったままの状態にならないよう、溝さらえを行うなど徹底した排水対策を講じる。

【参考サイト】

農業技術振興センター	http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/
病虫害防除所	http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/
彦根地方气象台	http://www.jma-net.go.jp/hikone/
早期天候情報	https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/

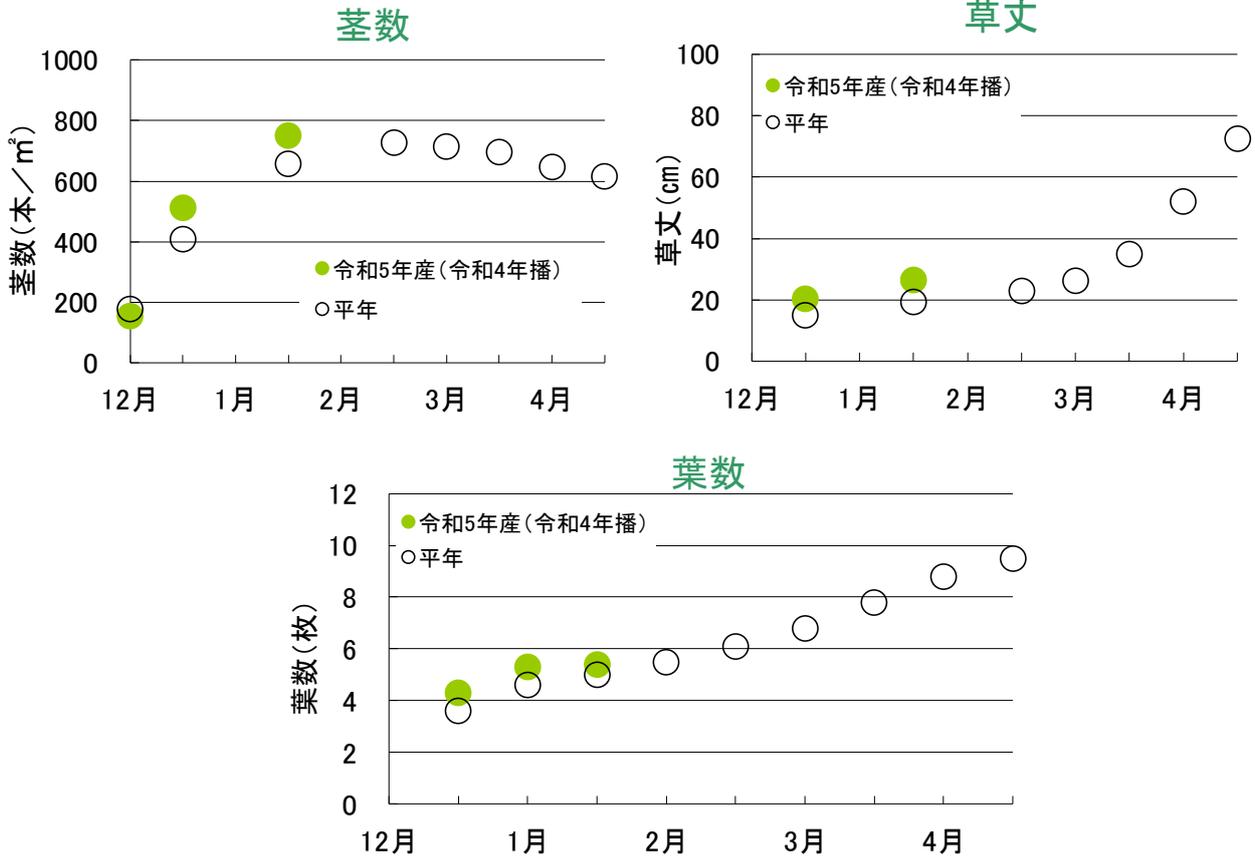
令和5年産(令和4年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



令和5年産生育調査結果(1)

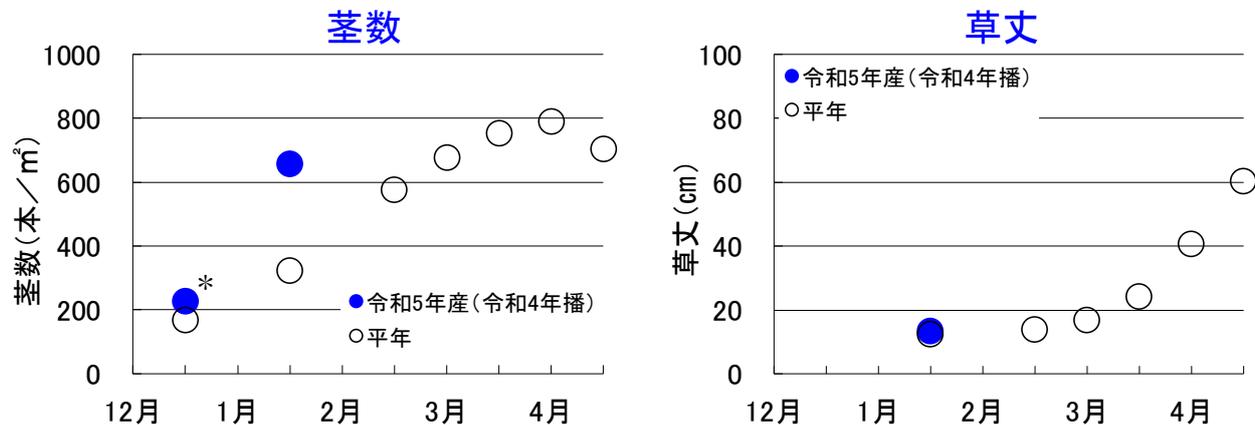
「農林61号」

令和4年11月4日播



(参考)

令和4年11月18日播



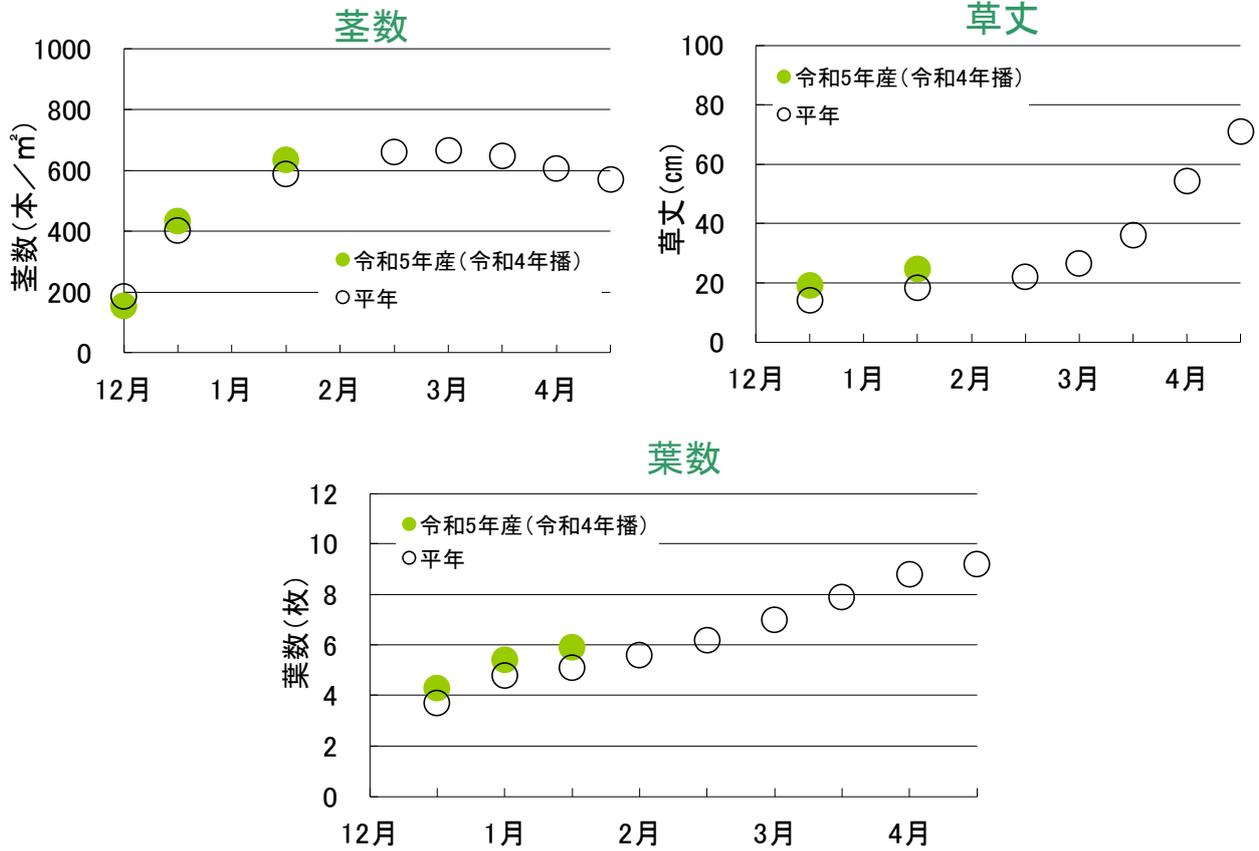
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成25～令和4年産(平成24～令和3年播)の10年間の平均値。

令和5年産生育調査結果(2)

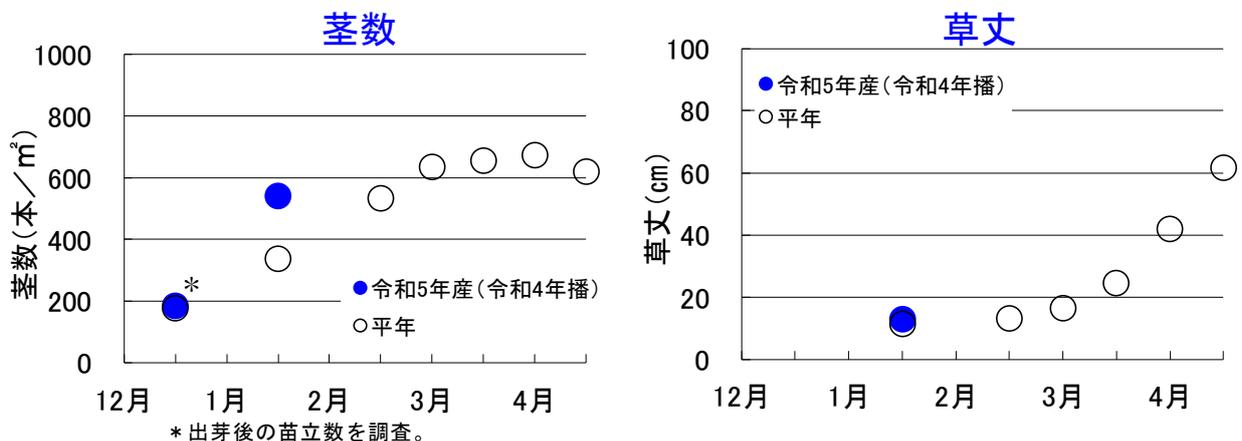
「ふくさやか」

令和4年11月4日播



(参考)

令和4年11月18日播

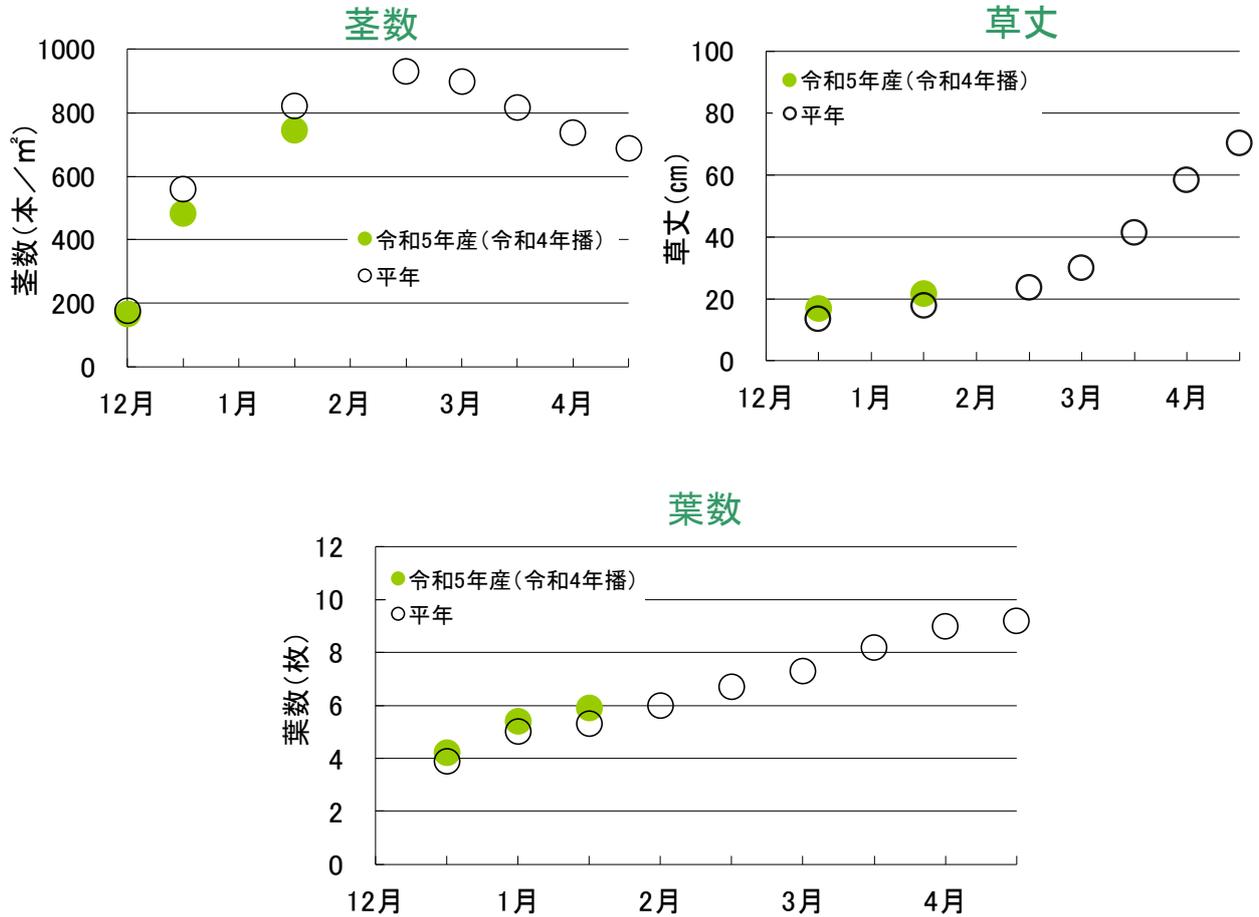


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成25～令和4年産(平成24～令和3年播)の10年間の平均値。

令和5年産生育調査結果(3)

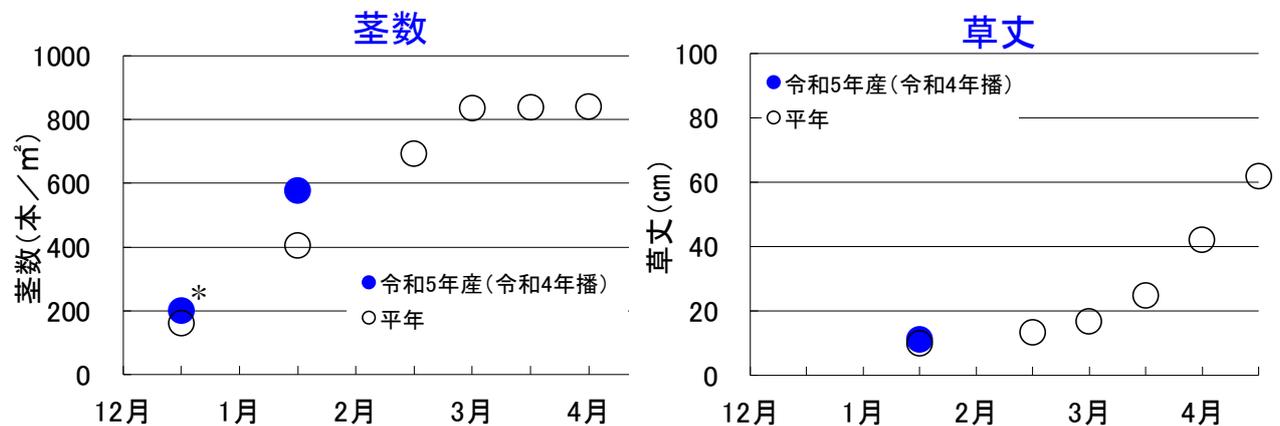
「びわほなみ」

令和4年11月4日播



(参考)

令和4年11月18日播



* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和4年産(平成27,29～令和3年播)の6年間の平均値。